

令和3年度衆議院予算(案)の概算

令和3年1月
〔令和2年12月21日〕
政府案閣議決定

1. 要求総額	2年度予算額(当初)	3年度予算額(案)	増△減	伸率(%)
(組織) 衆議院	66,673百万円	69,120百万円	2,447百万円	3.67

2. 主要事項

事項名	2年度 予算額	3年度 予算額(案)	比較 増減額	説明
	百万円	百万円	百万円	
1. 議員関係経費	20,397	20,232	△ 165	
(1) 議員歳費	10,207	10,042	△ 165	歳費月額 議長2,170,000円 副議長1,584,000円 議員1,294,000円 (4月 議長1,736,000円 副議長1,267,200円 議員1,035,200円) 期末手当 3.35月
(2) 文書通信交通滞在費	5,580	5,580	0	月額100万円
(3) 議会雑費	30	30	0	国会役員、特別委員長、憲法審査会会長及び情報監視審査会会長
(4) 立法事務費	3,627	3,627	0	月額65万円
(5) 国会議員鉄道 乗車証等経費	912	912	0	JRパス及び航空機利用の経費 ①JRパス経費 336百万円 ②航空機利用経費 576百万円
(6) 弔慰金	41	41	0	歳費月額16月分
2. 議員秘書関係経費	15,216	15,254	38	政策担当秘書 1人 第一・第二秘書 2人 ①秘書給料、通勤手当、期末・勤勉手当、住居手当 ②秘書退職手当、秘書保険料等
3. 総選挙関係経費	-	1,588	1,588	衆議院議員任期満了(令和3年10月21日)に伴う経費 ①議員秘書退職手当 ②議員秘書手当 ③文書通信交通滞在費等
4. 海外派遣経費	373	373	0	議員団等派遣外国旅費
5. 議員会館関係経費 (PFI事業)	3,191	3,844	653	議員会館事業費(第2期) 【(参考) 総額 27,602百万円】 ①維持管理運営費 2,760百万円 ②光熱水料等 454百万円 ③設備更新等施設整備費 630百万円 計 3,844百万円
6. 赤坂議員宿舎関係経費 (PFI事業)	1,207	1,208	1	赤坂議員宿舎整備等事業費 【(参考) 総額 34,074百万円】 ①維持管理運営費 613百万円 ②割賦元本((項)衆議院施設費) 595百万円 計 1,208百万円

事 項 名	2 年 度 予 算 額	3 年 度 予 算 額(案)	比 較 △ 減	増 額	説 明
7. 議 案 類 印 刷 費	562	552	△	10	委員会議録及び法律案等の印刷に必要な経費
8. 調 査 機 能 拡 充 強 化 経 費	201	201		0	衆議院調査局及び法制局等の調査・立案事務活動費
9. 情 報 シ ス テ ム 関 係 経 費	1,905	2,065		160	(主な項目) ・衆議院LANシステム等更改経費 162百万円 ・衆議院インターネット審議中継システム更改経費 106百万円 ・議員歳費・秘書給与システム開発更改経費 72百万円
10. そ の 他 の 庁 費 ・ 旅 費 等	2,813	2,702	△	111	上記1～9を除く国会の権能行使及び衆議院の運営に必要な経費 ※庁費、国政調査活動費、国内派遣旅費等 (主な項目) ・委員会等国政調査経費 259百万円 ・自動車関係経費 254百万円 ・本館等維持管理経費 521百万円 ・光熱水料等 349百万円 ・国会審議テレビ中継関係経費 195百万円 ・国有資産所在市町村交付金 510百万円 ・列国議会同盟分担金 106百万円
11. 職 員 人 件 費	19,712	20,033		321	定員1,707人〔前年度+2人〕(事務局1,621人(+2)、法制局86人(±0)) 「国会職員の給与等に関する規程」に基づく給与
12. 施 設 整 備 に 必 要 な 経 費 (PFI事業・議員会館除く)	1,089	1,062	△	27	衆議院施設整備に必要な経費 (主な項目) ①国会議事堂の耐震診断業務(2年目) 52百万円 【3箇年度国債 総額157百万円】 ②空調機整備費 222百万円 ③テレビ中継放送施設整備費 102百万円 ④国会参観バス臨時駐車場整備費 82百万円 ⑤事務局分室改修整備費 68百万円 ⑥法制局分室解体整備費 39百万円 ⑦その他本館等庁舎整備費 483百万円 (⑦の主な内訳) ・第2別館外部建具改修整備費 185百万円 ・第2別館自家発電用燃料タンク整備費 87百万円 ・第1別館地下通路段差解消機整備費 33百万円
13. 衆 議 院 予 備 経 費	7	7		0	「国会法」第32条の規定による予備金

(注)計数については、端数において合計と一致しないものがある。